

日時 2018年1月18日(木) 午後6時～8時

場所 文京区区民センター 3F-B 会議室

出席 14名

「富士山と坂」のテーマで以下の事例を取り上げた。

テーマ1 横関英一『江戸の坂 東京の坂』より「富士見坂」を中心にして、東京23区内の富士見坂の現況が報告された。担当 松本崇男

なお、研究会に先立って1月13日の「この指とまれ」において、渡邊一夫氏の案内で東京富士見坂(目黒)、青木坂(別名富士見坂・南麻布)、新富士見坂(南麻布)、富士見坂(西麻布)、岡本3丁目の坂(別名東京富士見坂・世田谷区岡本)などを訪れた。

テーマ2 「世界遺産としての富士山」担当 武田一雄

- 1.世界遺産とは
- 2.世界遺産の登録基準
- 3.日本の世界遺産への取り組み
- 4.富士山世界遺産への道のり
- 5.世界文化遺産になった富士山の課題
- 6.富士の伝説
- 7.富士山の信仰の成り立ち
- 8.文学と富士山

富士山について広範にわたって話を聴いた。

東京の富士見坂の中でも「富士山が見える富士見坂」として人気を集めた西日暮里の富士見坂から富士山が見えなくなった平成25年(2013年)6月20日頃、2013年6月26日に「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」がユネスコ世界文化遺産に登録された。富士山と富士見坂の關係にこれからも関心をもって見つめていきたい。